

弥生時代とはどんな時代かわかりやすく解説 (前編)

弥生時代とは

縄文時代から弥生時代へ

縄文時代では、「土器」が登場したことで、人々の食生活がおおきく変わって、きまったところに住みかを作ってくらすようになっていたね。





弥生時代になると、人々はお米を作るようになって、また生活が変わるんだ。

ところで、なぜ急に米作りがはじまったのかな？

それに、それってそんなに重要なことかな？

弥生時代、ココがピンとこない！

- 弥生時代になったら急に米を作りはじめたけど、なんで？
- 米を作りはじめたことって重要ななの？
- 「弥生」ってなに？なんで弥生時代というの？

弥生時代と米づくり

ギモン①

どうして急に米作りがはじまったの？

縄文時代の人々が「こまっていた」こと

縄文時代の人々の食材はなんだったかな？



山にいる動物や、海でとれる魚、貝、木の実なんかだったよね。
そう。つまり「自然」の中にあるものだよ。
ということは、「どのくらい食べられるか」は、自然次第（つまり、人間の力で変えることは難しいということ）だったんだ。
たとえば、きびしい寒さがつづいてしまうと、自然にとれる木の実なんかも少ないし、動物や魚の数もへってしまうよね。
そうすると、あっという間に人々も食べる物がなくなって、こまってしまう生活だったんだ。



つまり
縄文時代の人々の食事は、自然に左右されるものだったので、食べ物がなかつたりして不安定だった！

神アイテム「米」の登場！

そんなふうに、こまりきっていた縄文時代の人々のところへ、中国・朝鮮から「渡来人」がやってきたんだ。

「渡来人」というのは（海を）渡わたって来た人のことだよ。



大陸（ここでは、中国や朝鮮のこと）では、すでにお米を作っていたので、渡来人たちは「お米を育てる知識と技術」を持っていたんだ。



お米だったら自分たちが管理すれば安定して食べ物が手にはいるし、長いあいだ保存できるから、いざというときに蓄えておくこともできるよね。

「食べ物が見つかるか不安定でこまっていた」ところに、「安定して食べられる米」がやってきて、人々の生活がまた激変したんだね。だから米作りが時代の区切りになっているんだね。

つまり

渡来人が米作りを教えてくれて、食生活が安定した！

→弥生時代のはじまり

こういうワケだった！

- 縄文時代の食べ物は自然にとれるものなので、安定して食べられなかった！
- 大陸から渡来人がやってきて、お米の作り方を教えてくれた！
- お米なら自分たちで育てられるから、食生活が安定した（弥生時代スタート）！



弥生時代のギモン

米作りが始まったことって、そんなに重要？

お米がたくさんとれるように、チームで作ろう！

「安定して食べ物が手に入る！」と人々はよろこんで米作りに力を入れるようになった。

お腹いっぱい食べるには、できるだけたくさんお米がとれたほうがいいよね。

そのためには、「1人」とか「家族だけ」で米作りをするより、たくさんの人が集まって一緒に作ったほうが作業も効率的（効率がいいこと）だね。

だって、みんなで協力すれば大きな水田が作れるし、水田が大きければ大きいほど、お米もたくさんとれるよね。

だから、米作りをはじめた弥生時代の人々は、集まって「むら」というグループを作って米作りを始めたんだ。

つまり、「チームプレイするようになったんだよ」

チームをまとめるリーダーが必要だよね！

ちょっとここで「身近なこと」で想像してみよう。

たとえば学校でも、「チームで協力して活動する」ときってあるよね。

部活とか、委員会とか…。

そのとき、「部長」とか「委員長」なんて「リーダー」を決めるよね？

だって、みんなをまとめたり指示してくれたりする人が必要になるからね。

昔の人もおんなじ。「みんなで協力して米作りをしよう！」となった結果、みんなをまとめたり指示してくれたりする「リーダー（指導者）」が現れたんだ。



リーダーなんだから偉いんだ！（貧富の差）

そして「リーダー」というからには、

「おれはリーダーだぞ！」と、「えばる人」も出てくる。

「おれはリーダーだからちょっと米を多めにもらうぞ」とか、

「みんなより綺麗な服を着なきゃ！」とか考えるようになって、

とうとう「偉い」とか「貧富の差」というものが出来てしまったんだ。

これが「人々はみな平等」だった縄文時代と大きくちがうポイントだよ。それに、これからの日本の動きに大きく影響するから注目しておいてね。

まとめ

みんなが協力して米作りをすることで、リーダーが現れ、貧富の差が生まれた。

こういうワケだった！

- チームプレイでお米作りをするようになった
- チームをまとめる「リーダー」があらわれた
- リーダーが偉えらくなって、「貧富の差」が生まれた
- 貧富の差が出来るキッカケになった米作りって重要！！

弥生時代の疑問

ところで、なぜ「弥生時代」というの？

「縄文時代」は「縄文土器」を使っていた時代のことだったよね。

弥生時代もおなじ。

「弥生土器」を使っていた時代だから「弥生時代」というんだよ。

※最近では弥生土器を使っていたかどうかよりも「米作りが中心になった頃」を「弥生時代」とする考え方もあるよ。



では弥生土器はなんで「弥生土器」というのか？

それは、東京にある「弥生町」というところの貝塚で発見された土器だからなんだ。

まとめ

米作りが中心になった時代は、弥生町の貝塚で発見された弥生土器が使われていたので「弥生時代」と呼ぶ

こういうワケだった！

- このころ使っていた土器どきが「弥生町」の貝塚で発見された！
- 弥生町で発見されたから、「弥生土器」と呼ぼう！
- 弥生土器を使っていた時代だから、「弥生時代」と呼ぼう！

6年生はここを押さえればOK! まとめ

弥生時代のまとめ

※赤いキーワードは必ず覚えよう！

- 始まりは紀元前500年ほど
- 中国や朝鮮から米作りが伝わったことで、暮らしが安定した
- 米作りを伝えた人々を「渡来人」と呼ぶ
- 「むら」を作り、みんなで協力して暮らすようになった
- 米作りをまとめる指導者が現れた
- 貧富の差や上下関係が生まれた
- 弥生土器を使っていた

